



学校だより第1号



神奈川県立伊勢原支援学校

令和6年5月24日

「巻頭言」

5月の連休後から、ようやく通常の日課が始まりました。子どもたちの新学期の緊張感も、無くなってきた頃ではないかと思います。今年度から始まる新たな学校教育計画をホームページに今後掲載いたしますが、その中の「グランドデザイン」に、児童生徒の成長のための、「地域の力」「保護者の力」「学校運営協議会の力」「教職員の力」の四つの力を描いています。子どもたちの学校生活は、それぞれ四つの力のバランスと持ち味によって充実度が保たれています。「教職員の力」で忘れてはならないのは、教員だけではないということです。子どもたちと関わる機会は短時間、もしくは、無いという方もいますが、伊勢原支援学校の職員として、学校運営の安全安心を陰で支えている方が多数いるということです。事務室の職員、学校給食に携わる栄養士や調理員、スクールバス乗務の介助員や運転手、学校の環境整備・警備に関わる職員、教員業務をサポートするアシスタントやサポーター職員、健康診断・衛生管理等に携わる学校医、薬剤師、産業医などのさまざまな職種の方々です。そうした方々を含めた、職員数を合わせると140名程となりまして、その一人ひとりの力の結集により、日常の伊勢原支援学校が運営されています。どの職種の方が欠けていても、安全で安心を生み出す学校は成り立ちません。

昨年からようやく新型コロナウイルスによる教育活動上の制約がなくなりましたが、近年、毎年のように大きな自然災害が日本を問わず各地で立て続けに起きています。平穏な学校生活を毎日送ることができていると、それが当然であり、つい、当たり前のように感じてしまいます。

初めに述べた通り「グランドデザイン」では、子どもたちの健やかな成長を願い、「いせはらこま(大山こまのイメージ)」を回し続けるための四つの力を描きました。その力の一つひとつに、今、述べてきたような方々のサポートが込められています。災害に遭わず日常の生活を問題なく送れている時こそ、サポートの有難さを意識する必要があります。子どもたちの確かな成長を求め、伊勢原支援チーム力の輝きをもっともっと上げていきたいと思います。

校長 見目 茂則

「小学部 新入生を祝う会」

4月19日(金)小学部では、5名の新入生を祝う会を行いました。

先輩の温かい拍手に包まれながら、新入生は笑顔いっぱい入場し、一人ひとりの名前と好きなものを発表する自己紹介をしました。また、新しく小学部に仲間入りした先生たちの「エビカニクス」ダンスを見たり、みんなでバルーンダンスを踊ったりしてとても楽しい会になりました！



「中学部 新入生を祝う会」

4月19日(金)に、新入生を祝う会を開催しました。上級生からのウエルカムメッセージ、学部全体での名刺交換ゲームや椅子取りゲームをとおして交流をすることができました。最後はみんなが大好きな「ジャンボリミッキー」を踊って楽しい時間を過ごすことができました。



「高等部 新入生歓迎会を行いました!」

4月23日(火)に、新入生歓迎会を行いました。今年度は、新2・3年生の発表のほかに、1年生の自己紹介、同好会の紹介がありました。会場は手拍子や拍手で大いに盛り上がりました。



「分教室 新入生歓迎会」

4月11日(木)、伊志田高校の視聴覚室において、生徒会が中心となり「新入生歓迎会」を実施しました。3、2、1年生の順でそれぞれ作成した資料をもとに自己紹介を行い、自らの趣味やハマっていることを発表しました。

また、上級生の出し物「分教室クイズ」や分教室の授業や行事、教員の紹介などもあり、緊張する1年生の気持ちや表情もほぐれ、とても充実した会となりました。

